

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	投稿規定
別タイトル	INTRODUCTIONS FOR AUTHORS
作成者（著者）	東邦大学医学会編集委員会
公開者	東邦大学医学会
発行日	2019.12.01
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 66(4).
資料種別	その他
著者版フラグ	publisher
メタデータのURL	https://mylibrary.toho u.ac.jp/webopac/TD72300329

東邦医学会雑誌論文投稿規定

(2017. 10. 1改訂)

I. 投稿の制限と投稿原稿の種類, 倫理

- 1) 東邦医学会雑誌は, 東邦大学医学会が発行する機関誌で, 医学研究成果の発表, 情報交換を行う和文誌である。
- 2) 本誌の投稿にあたり, 掲載料金に加え1万円の投稿料金を課す。ただし本会会員は免除とする。
- 3) 投稿論文は創意に富んだもので, 他の学術誌に掲載されていない, または, 投稿中でない医学論文に限る。
- 4) 原稿は次の4群のいずれをも受付ける。
 - (1) 総説, 原著論文, 症例, 資料, 短報, 報告
 - (2) 本学を中心として行われる特別講演, 臨床講義, 学会, シンポジウム, トピックスなどのうち特色あると思われるもの
 - (3) 東邦医学会総会・例会記事
 - (4) 留学記, 学会参加記, 教室紹介
- 5) 臨床研究を論文として投稿する際は, 特に患者の人権を損なうことのないようにインフォームド・コンセントを得るなど, 十分配慮する。動物実験の場合も, 動物の維持・管理や, 実験操作に伴う疼痛の緩和に配慮する。
- 6) 法的あるいは倫理的に審査が必要とされている研究については, 論文内に所定の承認番号などを記載し, 必ず東邦大学医学部論文適正化委員会の確認通知書の写し, 他機関については倫理委員会承認証に相当する書類の写しを提出する。
- 7) 論文内に利益相反状態を明示する。利益相反がない場合も, その旨明記する。また, 必ず全著者が東邦医学会雑誌 COI 申告書を提出する。

II. 助成・提供

助成金・装置・薬剤など援助・提供を受けた場合は, その旨と出所を謝辞へ記載する。

III. 著作権

- 1) 論文受理後, 一切の著作権は東邦大学医学会が保有する。著者はその一部もしくは全部を転載するときは, 前もって東邦大学医学会の承認を得なければならない。
- 2) 投稿に際し, 既発表の図(写真を含む), 表, その他の著作物を引用転載する場合は, 形式やレイアウトの変更などの改変をした場合であっても, 出典を明示し, 著者の責任で投稿前に著作権者の書面による同意を得

る。承諾を得た場合は, その書面のコピーをPDFにしてオンライン投稿システムにアップロードする。

IV. 掲載料・発行日

編集部が依頼した企画以外については, 掲載料としてすべて実費を申受ける(詳細は問合わせること)。

発行日は, 年4回(3月・6月・9月・12月)とする。原稿の採否, 掲載順, 印刷時の様式などは最終的に編集委員会において決定する。受理された論文は原則として受付順に掲載する。

V. 原稿の提出

投稿に際しては, 投稿論文チェックリストにて全ての項目を確認し, 投稿原稿および必要提出書類(誓約書・COI 申告書・投稿論文チェックリスト)をアップロードすること。

VI. 投稿～掲載の流れ

1) 原稿受付と査読

申込受付された論文は, 編集委員会が決定した2人の査読者と統計査読者によって審査・査読される。2人の査読者の間で判定が分かれたときは, 新たに第3査読者が決定され審査が行われる。なお, 査読者の氏名などは公表しない。

2) 訂正原稿, 再審査

査読後, 編集部より著者へ査読結果と原稿を送付する。訂正後再審査となった原稿は, 原稿発送日より2カ月以内に, 訂正原稿, 訂正箇所を記した査読者への回答をそえて再提出する。

3) 最終原稿の提出, 校正, 掲載

査読完了後, 編集委員会で掲載承認されたのち, 印刷に入る。別刷を希望する場合は, チェックリストにその旨を記入すること。

編集部より最終原稿と初校ゲラを著者に送付, 著者はすみやかに校正して, 編集部へ返送する。著者校正は原則として初校ゲラのみなので, 注意する(責任校了)。

VII. 和文論文投稿規定

1) 原稿の種類

投稿原稿の種類は次のとおりとする。

- ・総説：ひとつのテーマに関連する多くの研究論文総括，評価，解説
- ・原著論文：研究結果，研究方法，研究材料，研究成績の解釈において新知見または創意が含まれているもの
- ・短報：原著と同じ性格で速報的に書かれたもの
- ・症例：珍しい病態についての診断および治療に関する貴重な経験と教育的知識を含むもの
- ・資料：臨床研究の中で蓄積した患者や病態等に関するデータや分析結果など
- ・報告：資料以上の教育的重要な情報を含むものなど

2) 一般的注意

論文の投稿は，電子投稿システム「ScholarOne Manuscripts」で行う。

投稿ウェブサイト：<https://mc.manuscriptcentral.com/tohoigaku>

*アカウント登録が必要になります。

- ・論文は，本文（文献も含む），英文要旨，図，図の説明，表についてそれぞれファイルを作成し，投稿ウェブサイトからアップロードする。
- ・必ず投稿前にファイル内の文字化け，画像の鮮明度などを確認する。

投稿システムにアップロード可能なファイルフォーマットは次の通りとする。

本文：doc (docx)

図：jpg, tiff, eps, および ppt (pptx)

表：xls (xlsx), および ppt (pptx)

投稿様式は次のとおりとする。

- ・A4用紙の片面に十分な余白(2.5 cm程度)を取って行間をダブルスペースにし，ページ数を入れて作成する。
- ・外国語：原語で記載する。細菌・植物などの学名・属

名はイタリック体で表記する。

- ・薬品名：一般名は英文表記とする。文中で省略語を用いる場合は，初回のみスペルアウトし，2回目以降は省略語とする。商品名は，頭文字を大文字にする。またはカタカナ表記でもよい。省略語は一般名に準じる。
- ・数字はアラビア数字および半角数字を用いる。
- ・単位は原則として国際単位系（SI）の略号を用いる。特殊な単位を用いる場合には説明をつける。

記載例

長さ …………… nm, μm, mm, cm, m, km

重さ …………… μg, mg, g, kg

容量 …………… μl, ml, dl, l

その他 …………… ℃, %など

3) 原稿様式の詳細（下記の項目順にそれぞれページを分けて作成する）。

(1) 表題（タイトル），著者名，所属名，ランニングタイトル，Corresponding Author

- ・このページを1ページとする。
- ・タイトル：論文の内容を適確に表すこと。
- ・ランニングタイトル：奇数ページ頭部分の簡略タイトルで，20字以内とする。
- ・Corresponding Author*の名前，所属名，連絡先電話番号，fax番号，e-mailアドレス。

*役割として，原稿の校正（final proof）を確認する，投稿における原稿提出から出版に関わるすべての連絡窓口となる。

(2) 和文要約および索引用語，脚注として所属所在地

- ・和文要約：原著論文と総説は400字以内，その他の論文種は200字以内とする。原著論文は構造化抄録とし，背景または目的，対象および方法，結果，結論の順序で見出しをつける。
- ・省略語：初回のみ「acetylcholine (Ach)」とし，2回

原稿種	要約見出し	要約字数	本文見出し	*1 本文字数	図表数	文献数
総説	—	400字以内	—	10,000字以内	8点以内	100以内
原著論文	背景, 対象/方法, 結果, 結論	400字以内	序文, 対象/方法, 結果, 考察	10,000字以内	8点以内	40以内
短報	—	200字以内	—	4,000字以内	2点以内	15以内
症例	—	200字以内	—	6,000字以内	8点以内	15以内
資料	—	200字以内	—	6,000字以内	8点以内	15以内
報告	—	200字以内	—	6,000字以内	8点以内	15以内

*1 本文字数（スペースを含めない）には，タイトル頁，要約，文献，図説，英文抄録は含まれない

目以降は省略語「Ach」を用いる。

- ・索引用語および脚注：タイトルを補って内容を十分に表す用語を5語まで選び、記載する。脚注として、著者全員の所属所在地を記載する。

(3) 本文

- ・項目：原著論文は序文（緒言）、材料（対象）と方法、成績（結果）、考察、まとめ（結語）と分け、序文（緒言）以外は見出しをつける。
- ・序文（緒言）：1枚程度で目的および背景を簡潔にまとめる。
- ・成績（結果）、考察：項目を分けて番号、見出しをつけるなど、読みやすくする。
- ・省略語：要約と同じく、2回目より略語のみを用いる。
- ・用いられた統計学的処理の方法について記載する。

(4) 文献

- ・主要なものだけに限定し、本文最後に一括して引用順に配列した文献表を記載する。本文中の引用部分に数字番号を小文字で肩書し、2つ以上の引用は「1-5」、「1, 3, 5」などとする。
- ・論文名は略さず記号や略語に至るまでオリジナルどおりに記載する。
- ・文献の書式はバンクーバースタイルとする。
- ・著者名：7人以上の場合は、6人まで記載し、残りは「ほか」「et al.」と記載する。
- ・誌名の省略：雑誌名の省略は、List of serials indexed for online users/PubMed, 医学中央雑誌・収載誌目録に従う。

記載例

- 1) Bell M, Krentz T, Keith Nelson J, Schadler L, Wu K, Breneman C, et al. Investigation of dielectric breakdown in silica-epoxy nanocomposites using designed interfaces. *J Colloid Interface Sci.* 2017; 495: 130-9.
- 2) 西田隆寛, 二宮健次, 前田利道, 熊谷賢太, 森木直哉, 田村 進, ほか. 吐血のための不十分な抗血小板療法を実施した冠動脈ステント植え込み術の1症例. *東邦医学会誌.* 2006; 53: 326-33.
- 3) 杉山 隆. 産褥時の管理. 藤田富雄, 豊田長康編. 妊娠と糖尿病—診療スタンダード. 京都: 金芳堂; 2002. p.183-9.
- 4) Culotta VC, Gitlin JD. Disorders of copper transport. In: Scriver CR, Beaudet AL, Sly WS, Valle D, Childs B, Kinzler KW, et al. editors. *The Metabolic*

and Molecular Bases of Inherited Disease. 8th ed. New York: McGraw-Hill; 2001. p. 3105-26.

(5) 英文タイトル, 英文著者名, 英文所属名, 英文アブストラクト, keywords, 脚注 (所属所在地の英文表記) 和文要約に対応させ, 以下の項目順に記載する。

- ・英文タイトル, 英文氏名 (名姓の順), 英文所属名
- ・英文要約 (Abstract): 300 words 内外. 原著論文は, Background または Objective, Material and Methods, Results, Conclusion の見出しをつけて構造化する. 研究過程で生じた問題点, どのような方法で研究が遂行されたか, 明白な結果, その結果から引き出される結論について簡潔に, そして順序正しく記載する.
- ・Keywords: 索引用語と同じく5語程度.
- ・脚注として所属所在地を英文で記す.

(6) 表, 図, 写真および Legend

- ・表, 図および写真を1点につき1ページごとに分け, 本文出現順に番号を記載する.
- ・Legend (説明) を含め, 原則として英語表記とするが, 和文でも可とする.
- ・表中に Abbreviation (省略語) がある場合は, 一般的な省略語 (MRI, CT など) を除き, legend の後に, 「TAI: transcatheter arterial infusion」などと記載する. 統計学用語は *p*, SD, SE とする.
- ・図は JPG, TIFF, EPS, および PPT フォーマットなどのオリジナルファイルをアップロードする. 印刷原稿の解像度として, 300 dpi を必要とする.

【表 (Table)】

- ・簡潔なタイトルを表の上に, legend を表の下に付記する. 表中に縦罫線, 斜罫線は用いない. 表の上下には横罫線を入れる.
- ・%等の単位は見出しの項目に () で表記し, 対象数字個々には記載しない.

【図 (Fig./Illust.) および写真 (Photo)】

- ・図および写真を1枚ずつ分けてアップロードする. Legend (説明) は本文 (Word doc.) の最後のページに含める. 組織細胞写真は, 染色の種類, 倍率を記載する.

投稿に関するお問い合わせ先:

(株) 杏林舎内「東邦医学会雑誌」編集事務局
電子メール: tohoigaku@kyorin.co.jp
TEL: 03-3910-4311

東邦医学会雑誌 投稿論文の COI 申告書 (過去 1 年間)

申告者氏名		所 属	
職 位			
投稿論文名			

上記の論文内に利益相反(COI)の開示についての記載がない場合、本論文に関連して開示すべきCOI関係にある企業などを項目ごとに記載して下さい。なお、著者が複数の場合は各著者がそれぞれ記載してご提出ください。(申請時から遡って過去 1 年以内の状態)

項 目	該当の状況	該当する場合、企業名などを記載
① 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職などの有無 <small>(1つの企業・団体から年間 100 万円以上のものを記載)</small>	(本人) 有・無	
	(親族)* 有・無	
② 株の保有 <small>(1つの企業の 1 年間の利益が 100 万円以上、あるいは当該株式の 5% 以上保有のものを記載)</small>	(本人) 有・無	
	(親族)* 有・無	
③ 企業や営利を目的とした団体から知的財産権使用料として支払われた収入などの有無 <small>(1つにつき年間 100 万円以上のものを記載)</small>	(本人) 有・無	
	(親族)* 有・無	
④ 企業や営利を目的とした団体より、会議の出席(発表)に対し、研究を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料の有無 <small>(1つの企業・団体からの年間合計 50 万円以上のものを記載)</small>	(本人) 有・無	
⑤ 企業や営利を目的とした団体のパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料などの有無 <small>(1つの企業・団体から年間合計 50 万円以上のものを記載)</small>	(本人) 有・無	
⑥ 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費(委託受託研究、共同研究)などの有無 <small>(1つの企業・団体から支払われた総額が年間 100 万円以上のものを記載)</small>	(本人) 有・無	
⑦ 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学寄付金(奨励寄付金)などの有無 <small>(1つの企業・団体から支払われた総額が年間 100 万円以上のものを記載)</small>	(本人) 有・無	
⑧ 企業や営利を目的とした団体が提供する寄付講座との関連の有無 <small>(企業などからの寄付講座に所属している場合に記載)</small>	(本人) 有・無	
⑨ 研究とは無関係な旅行、贈答品などの有無 <small>(1つの企業・団体から年間 5 万円以上のものを記載)</small>	(本人) 有・無	

*: 配偶者および一親等の親族

(本申告書は 2 年間保管され、その後破棄されます。また、理由なく東邦医学会雑誌編集委員以外が閲覧することはありません)

申告日(西暦) 年 月 日 署名

(印)

令和 年 月 日

誓 約 書

東邦医学会雑誌
編集委員会 御中

論文名:

著者は、投稿原稿とその内容がすでに他誌に掲載されたりあるいは現在も投稿中ではないこと、また、①患者の人権・個人情報への配慮、②動物実験での動物取扱の配慮、③助成金・薬剤・機材などの提供を受けた場合はその旨、を論文中に明記することをここに誓約いたします。

なお、上記投稿論文が受理された際は、著作権を貴学会に譲渡することを承諾いたします。

著者(著者全員自筆署名)

筆頭著者

共著者

1. _____

2. _____

3. _____

4. _____

5. _____

6. _____

7. _____

8. _____

9. _____

10. _____

東邦医学会雑誌第 66 卷投稿論文査読者

端詰 勝敬	Masahiro Hashizume	根本 隆洋	Takahiro Nemoto
桂川 修一	Shuichi Katsuragawa	西脇 祐司	Yuji Nishiwaki
近藤 元就	Motonari Kondo	小原 明	Akira Ohara
黒岩 実	Minoru Kuroiwa	佐藤 真理	Mari Satoh
三上 哲夫	Tetsuo Mikami	澁谷 和俊	Kazutoshi Shibuya
森田 峰人	Mineto Morita	杉山 篤	Atsushi Sugiyama
並木 温	Atsushi Namiki	館田 一博	Kazuhiro Tateda

(ABC 順, 敬称略)